

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月4日

上場会社名 日本電子材料株式会社

上場取引所 東

コード番号 6855 URL <http://www.jem-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂根 英生

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門統括部長 (氏名) 足立 安孝

TEL 06-6482-2007

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	6,301	△32.5	△706	—	△742	—	△774	—
21年3月期第3四半期	9,331	—	△407	—	△371	—	△238	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△73.13	—
21年3月期第3四半期	△22.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	16,073	9,133	56.8	862.50
21年3月期	17,278	9,989	57.8	943.27

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 9,133百万円 21年3月期 9,989百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	10.00	—	5.00	15.00
22年3月期	—	5.00	—		
22年3月期 (予想)				5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,920	△17.9	△660	—	△690	—	△730	—	△68.93

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 一社 (社名) 除外 1社 (社名 ジェム静岡(株))
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第3四半期 | 10,604,880株 | 21年3月期 | 10,604,880株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第3四半期 | 15,071株 | 21年3月期 | 15,011株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 10,589,863株 | 21年3月期第3四半期 | 10,590,126株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・平成21年5月14日に公表しました連結業績予想を修正しております。連結業績予想に関する事項につきましては、本日平成22年2月4日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における当社グループの主たる事業分野である半導体市場は、各国の景気刺激策等により、回復傾向で推移いたしました。

メモリーICにつきましては、スマートフォン、携帯音楽プレーヤー、ノートパソコン等の売上拡大により堅調な需要となりました。ロジックICにつきましても、薄型テレビや環境対応自動車等の需要増加により、海外を中心に改善傾向となりました。一方国内のロジックICは景気停滞や円高の影響等により本格的な回復は遅れる状況で推移いたしました。

このような事業環境のもと、当社グループにつきましては、メモリーIC向けに対してはVタイププローブカードや新製品のMタイププローブカードを、ロジックIC向けに対してはCタイププローブカードを中心として拡販に努めました。

その結果、海外を中心に業績は回復傾向となり、昨年量産を開始したMタイププローブカード「MCシリーズ」の継続的な売上確保をすることもできましたが、国内需要が本格的に回復に至らなかったため、売上、利益ともに厳しい状況で推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、63億1百万円（前年同期比32.5%減）、営業損失は7億6百万円（前年同期は営業損失4億7百万円）、経常損失は7億4千2百万円（前年同期は経常損失3億7千1百万円）、四半期純損失は7億7千4百万円（前年同期は四半期純損失2億3千8百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億5百万円減少し、160億7千3百万円となりました。

これは主として、現金及び預金が5億8千1百万円増加いたしましたが、有価証券が17億5千6百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億4千9百万円減少し、69億3千9百万円となりました。

これは主として、支払手形及び買掛金が6億3千1百万円、社債が9億円増加いたしましたが、短期借入金10億2千4百万円、その他の流動負債が9億2千7百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億5千5百万円減少し、91億3千3百万円となりました。

これは主として、その他有価証券評価差額金が2千8百万円増加いたしましたが、利益剰余金が8億8千万円減少したこと等によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、38億8千7百万円減少し、当第3四半期連結累計期間末には32億9千2百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、8千9百万円（前年同期比58.6%減）となりました。

これは主として、仕入債務の増加額6億3千1百万円等による増加要因があったものの、税金等調整前四半期純損失7億4千2百万円等による減少要因があったことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、34億7千6百万円（前年同期比259.8%増）となりました。

これは主として、有価証券の売却による収入48億8千6百万円、定期預金の払戻による収入16億6千4百万円等による増加要因があったものの、有価証券の取得66億2千6百万円、定期預金の預入30億3千7百万円等による減少要因があったことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、3億1千8百万円（前年同期比15.3%増）となりました。

これは主として、短期借入れによる収入25億円、社債の発行による収入10億円による増加要因があったものの、短期借入金の返済35億2千4百万円、社債の償還1億円、配当金の支払額9千3百万円等による減少要因があったことによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月14日に公表いたしました通期（連結、単体）の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

連結除外：ジェム静岡㈱

当社は、平成21年4月1日付で当社100%出資の連結子会社であったジェム静岡㈱を吸収合併したため、第1四半期連結会計期間より同社を連結の範囲から除外しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（簡便な会計処理）

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。また、前連結会計年度末以降に経営環境等、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,929	3,347
受取手形及び売掛金	3,746	3,327
有価証券	2,717	4,473
商品及び製品	109	99
仕掛品	313	248
原材料及び貯蔵品	614	590
その他	493	731
貸倒引当金	△4	△6
流動資産合計	11,920	12,812
固定資産		
有形固定資産	2,905	3,196
無形固定資産	370	355
投資その他の資産		
その他	877	914
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	877	913
固定資産合計	4,152	4,465
資産合計	16,073	17,278

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,752	1,120
短期借入金	2,475	3,500
1年内償還予定の社債	200	—
1年内返済予定の長期借入金	99	99
賞与引当金	59	7
その他	527	1,455
流動負債合計	5,114	6,183
固定負債		
社債	700	—
長期借入金	325	392
役員退職慰労引当金	453	465
退職給付引当金	4	—
その他	341	248
固定負債合計	1,825	1,106
負債合計	6,939	7,289
純資産の部		
株主資本		
資本金	983	983
資本剰余金	1,202	1,202
利益剰余金	7,554	8,434
自己株式	△15	△15
株主資本合計	9,724	10,605
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8	△19
為替換算調整勘定	△599	△596
評価・換算差額等合計	△591	△616
純資産合計	9,133	9,989
負債純資産合計	16,073	17,278

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	9,331	6,301
売上原価	6,885	5,021
売上総利益	2,445	1,279
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	598	469
賞与引当金繰入額	32	14
役員退職慰労引当金繰入額	14	9
研究開発費	1,185	765
貸倒引当金繰入額	0	—
その他	1,023	728
販売費及び一般管理費合計	2,853	1,986
営業損失(△)	△407	△706
営業外収益		
受取利息	30	40
その他	45	36
営業外収益合計	76	76
営業外費用		
支払利息	—	36
持分法による投資損失	—	29
為替差損	24	7
社債発行費	—	22
その他	15	16
営業外費用合計	40	113
経常損失(△)	△371	△742
特別損失		
投資有価証券評価損	6	—
投資損失引当金繰入額	10	—
特別損失合計	16	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△387	△742
法人税、住民税及び事業税	119	14
法人税等還付税額	—	△6
法人税等調整額	△268	23
法人税等合計	△149	31
四半期純損失(△)	△238	△774

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△387	△742
減価償却費	817	644
賞与引当金の増減額(△は減少)	141	52
売上債権の増減額(△は増加)	553	△420
たな卸資産の増減額(△は増加)	△54	△100
仕入債務の増減額(△は減少)	△568	631
その他	△337	22
小計	164	87
利息及び配当金の受取額	33	41
利息の支払額	△0	△32
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△413	137
事業構造改善費用の支払額	—	△323
営業活動によるキャッシュ・フロー	△217	△89
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△188	△6,626
有価証券の売却による収入	229	4,886
有形固定資産の取得による支出	△725	△268
有形固定資産の売却による収入	19	1
投資有価証券の取得による支出	△52	△11
投資有価証券の売却による収入	3	6
貸付けによる支出	△30	△1
貸付金の回収による収入	4	17
定期預金の預入による支出	△37	△3,037
定期預金の払戻による収入	75	1,664
信託受益権の取得による支出	△630	△481
信託受益権の償還による収入	418	352
その他の支出	△60	△16
その他の収入	7	36
投資活動によるキャッシュ・フロー	△966	△3,476
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	650	2,500
短期借入金の返済による支出	△740	△3,524
長期借入金の返済による支出	—	△66
社債の発行による収入	—	1,000
社債の償還による支出	—	△100
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△186	△93
リース債務の返済による支出	—	△33
財務活動によるキャッシュ・フロー	△276	△318
現金及び現金同等物に係る換算差額	△51	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,511	△3,887
現金及び現金同等物の期首残高	4,257	7,179
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,745	3,292

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。